



参考資料

1. 策定経緯

年度	策定会議	市民との関わり、都市計画審議会
令和6年度		市民アンケート調査 対象者:18歳以上の市民2,500人 時期:令和6年5月17日 ~令和6年6月7日
	第1回策定会議:令和6年11月7日 ・ 都市計画マスタープランの概要 ・ 都市計画マスタープラン策定工程	
	第2回策定会議:令和7年1月22日 ・ 都市づくりの現況と課題 ・ 全体構想編(素案)	
		令和6年度第1回中間市都市計画審議会 :令和7年2月10日 ・ 都市計画マスタープランの概要 ・ 都市づくりの現況と課題 ・ 全体構想編(素案)
		情報公開(パブリックコメント) 時期:令和7年3月11日 ~令和7年4月10日 内容:全体構想編(素案)について
令和7年度	第3回策定会議:令和7年5月21日 ・ パブリックコメントの報告 ・ 全体構想編の変更箇所 ・ 地域別構想編(素案) ・ 実現化方策(素案)	
	第4回策定会議:令和7年8月6日 ・ 都市計画マスタープラン(素案)	
		令和7年度第1回中間市都市計画審議会 :令和7年9月29日 ・ 都市計画マスタープラン(素案)
		情報公開(パブリックコメント) 時期:令和7年10月15日 ~令和7年11月14日 内容:都市計画マスタープラン(素案) 住民説明会:令和7年10月21日 内容:都市計画マスタープラン(素案)
	第5回策定会議(書面):令和7年12月8日 ・ パブリックコメント・住民説明会の報告 ・ 都市計画マスタープラン(案)	令和7年度第2回中間市都市計画審議会 :令和7年12月18日 ・ パブリックコメント・住民説明会の報告 ・ 都市計画マスタープラン(案)

2. 市民アンケート調査概要

2-1. 調査概要

中間市都市計画マスタープランを策定するにあたって、市民のまちづくりに対する意見・要望を把握し、都市計画上の課題明確化等にむけた基礎資料とすることを目的に実施しました。

調査の方法	①調査対象地域…中間市全域 ②調査対象者…18歳以上の市民2,500人 ③サンプル抽出法…無作為抽出(地域のバランスに応じて抽出) ④調査時期…令和6年5月17日～令和6年6月7日 ⑤調査方法…郵送による配布・回収及びインターネット回答
配布・回収数	配布数 : 2,500通 有効回収数 : 808通(郵送 : 727通、WEB : 81通) 回収率 : 29.1%

2-2. 調査内容

項目	内容	
属性	性別、年齢、居住地(校区)、職業、家族構成、通勤(通学)手段	
居住状況	居住期間、居住意向、居住理由	
現在の中間市について	生活環境の満足度・重要度、土地・建物の現状 地域の役割、現在の中間市のイメージ	
これまでのまちづくりについて	前回計画の施策の満足度・重要度	
中間市の将来について	中間市の将来のイメージ	
	市街地の拡大	
	土地利用の方針	商業地、工業地、農地・山林、住宅地
	その他都市整備の方針	道路の整備、交通環境の整備、公園・緑地の整備、水環境に関わる施設の整備、街並み・景観、防災
	重点的に活用・整備すべき場所	
各拠点に必要な施設		

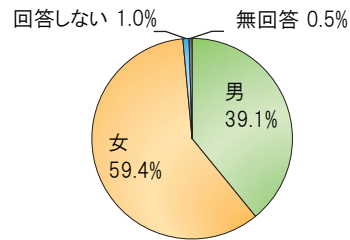
※アンケート結果のグラフ表示は、択一回答のものを円グラフ表示、複数選択回答のものを棒グラフ表示としています。

2-3. 調査結果の概要

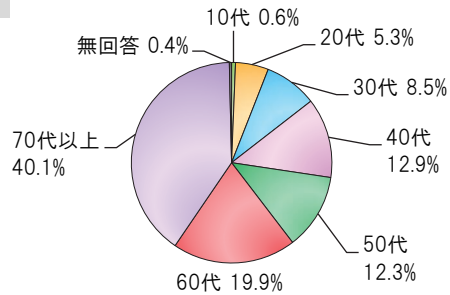
(1) 属性

- 性別は、男性が39.1%、女性が59.4%。
- 年齢は、70代以上が40.1%と最も多く、次いで60代の19.9%となり、60代以上の高齢者が半数以上を占める。
- 居住地(校区)は、中間南小学校区が24.3%、中間東小学校区が20.4%、中間北小学校区が12.9%、中間西小学校区が12.5%、中間小学校区が12.0%、底井野小学校区が9.8%となっている。
- 職業は、無職が27.7%、会社員・団体職員21.4%となっている。
- 家族構成は、夫婦と子どもの世帯(核家族)が29.2%と最も多く、次いで高齢者だけの世帯(65歳以上)が28.5%となっている。
- 通勤(通学)手段は、乗用車が74.8%と最も多く、バス、JR、筑豊電鉄の公共交通の合計は11.5%となっている。

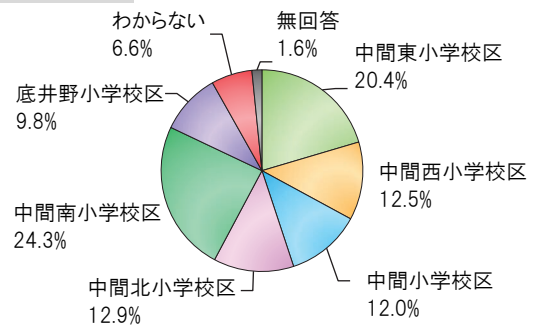
【性別】



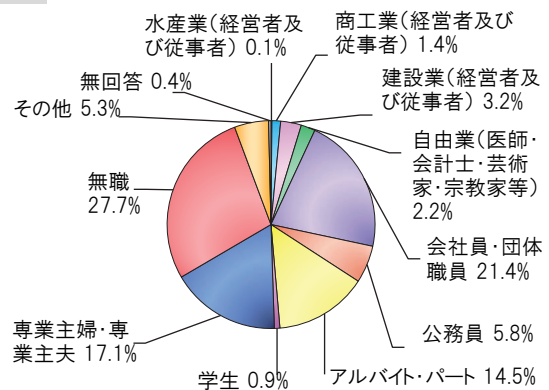
【年齢】



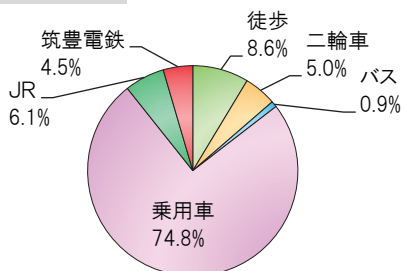
【居住地(校区)】



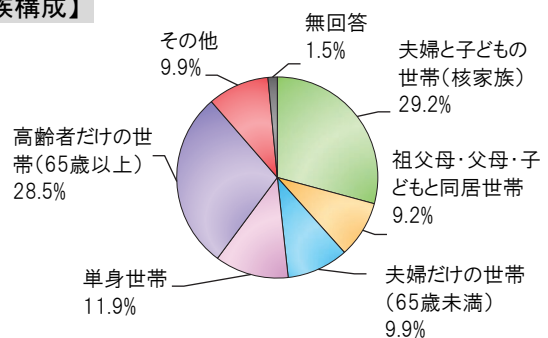
【職業】



【通勤(通学)手段】



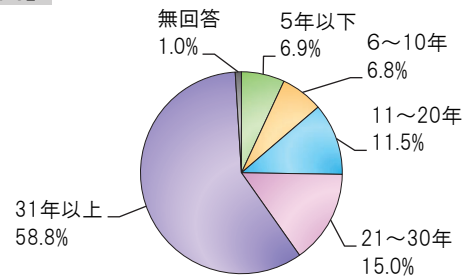
【家族構成】



(2) 居住状況

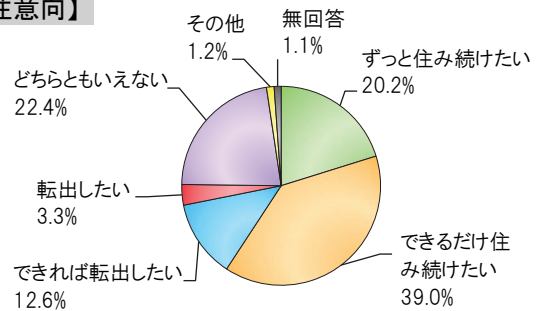
○居住期間は、31年以上が58.8%と最も多く、次いで21～30年が15.0%で、居住期間が21年以上の方が70%以上を占めている。

【居住期間】



○居住意向は、「できるだけ住み続けたい」が39.0%、「ずっと住み続けたい」が20.2%、となっており、おおむね6割の方が中間市に住み続けたいとの意向がある。

【居住意向】



○居住理由は、「生家があるから」が37.4%と最も多く、次いで「親族の家に近いから」が24.3%となっている。また、その他にも「買い物の利便性が高いから」が23.8%、「職場や学校に近いから」が20.2%と利便性に関する回答も多い。

【居住理由】

選択肢	件数	割合
1. 生家があるから	302	37.4%
2. 親族の家に近いから	196	24.3%
3. 職場や学校に近いから	163	20.2%
4. 子どもの学校に近いから	55	6.8%
5. 買い物の利便性が高いから	192	23.8%
6. バスや鉄道等の交通の利便性が高いから	84	10.4%
7. 上下水道等の生活基盤が整っているから	71	8.8%
8. 子育てする環境が整っているから	4	0.5%
9. 医療や福祉環境が整っているから	24	3.0%
10. 文化的な施設が整っているから	7	0.9%
11. スポーツ・レクリエーション施設が整っているから	3	0.4%
12. 自然が多いから	57	7.1%
13. 中間市のイメージが良いから	11	1.4%
14. その他	156	19.3%
無回答	22	2.7%
計	1,347	

集計母数808名

4つ以上回答した4名を含む。

(3) 現在の中間市について

<生活環境の満足度・重要度(市全体)>

- 満足度が高い項目は、「住宅地としての静けさ、雰囲気」「日常の買い物の利便性」「自然・緑の豊かさ、美しさ」となっている。
- 満足度の低い項目は、「医療施設の充実」「自転車専用レーンの有無や自転車の走行環境の充実」「バスやタクシー、その他公共交通の利便性」となっている。
- 重要度が高い項目は、「医療施設の充実」「日常の買い物の利便性」「地震や豪雨等の自然災害に対する安全性」「街路灯の数等の夜道の安全性」となっている。
- aゾーン(満足度が低く、重要度が高い)の項目としては、「医療施設の充実」「地震や豪雨等の自然災害に対する安全性」「街路灯の数等の夜道の安全性」「電車・駅関係施設の利便性」「交通事故からの安全性」「歩道の有無等、歩行者の歩きやすさ」となっている。

【満足度・重要度】

満足度と重要度の分析

満足度と重要度を点数化して平均値を算出し、縦軸に重要度、横軸に満足度をとってグラフ化した。

aゾーン：満足度が低く、重要度が高い

cゾーン：満足度・重要度がともに低い

bゾーン：満足度・重要度がともに高い

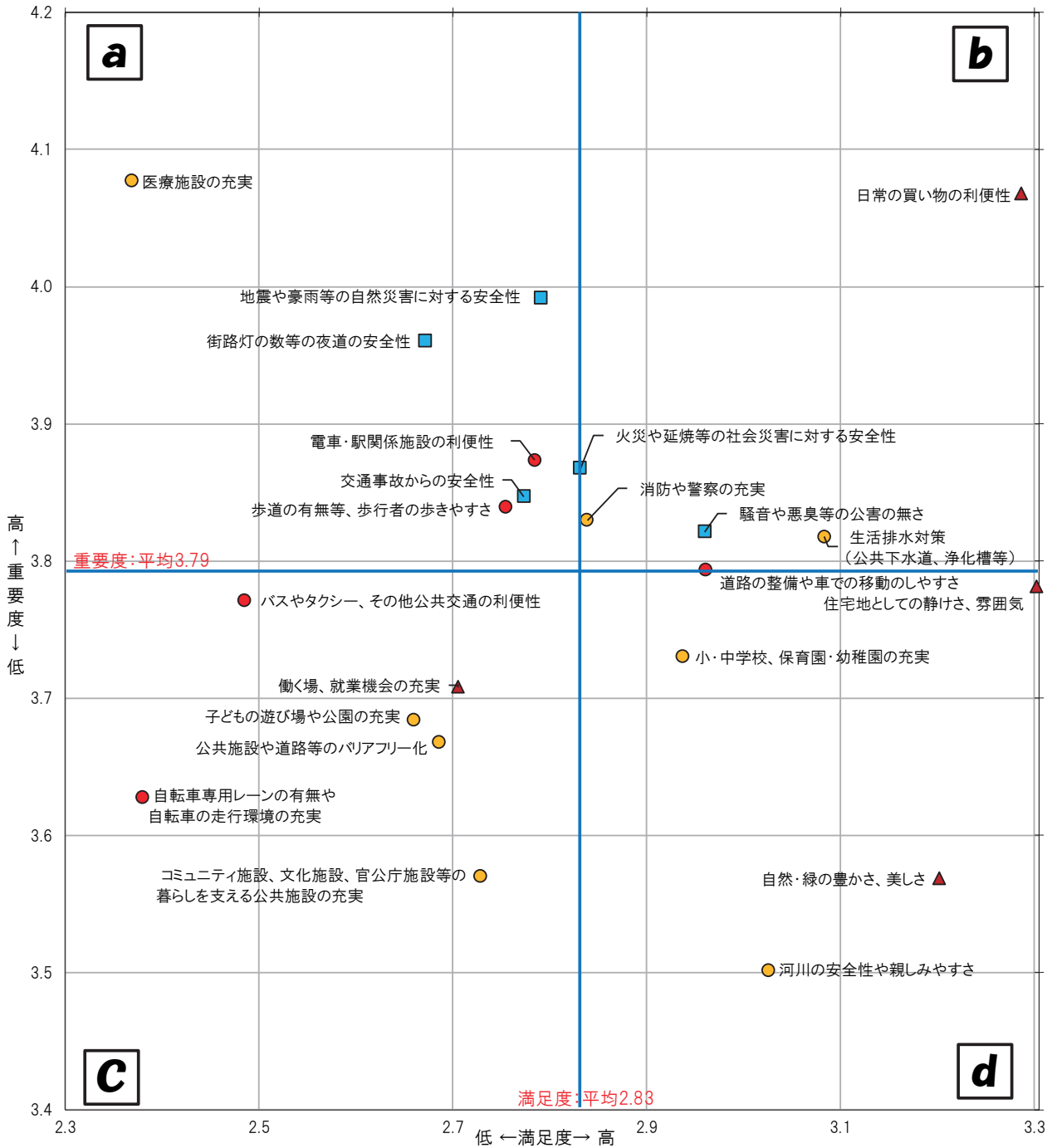
dゾーン：満足度が高く、重要度が低い

▲ 「土地利用」に関する項目

● 「道路・交通施設」に関する項目

○ 「その他都市施設」に関する項目

■ 「安全・安心」に関する項目



(不満・1、やや不満・2、普通・3、まあ満足・4、満足・5)
 (重要でない・1、あまり重要でない・2、普通・3、まあ重要・4、重要・5)

参考資料

<生活環境の満足度(地域別)>

○地域別に満足度をみると、中央地域と南部地域はほぼ同様の傾向であるが、西部地域については、「日常の買い物の利便性」「バスやタクシー、その他公共交通の利便性」などで、他の地域より満足度が大きく下回っている。

○「自然・緑の豊かさ、美しさ」については、西部地域の満足度が他の地域より大きく上回っている。

【地域別満足度一覧表】

項 目 (生活環境)		中央地域	南部地域	西部地域	市全体
土地 利用	1. 日常の買い物の利便性	3.46	3.33	2.37	3.29
	2. 働く場、就業機会の充実	2.71	2.77	2.58	2.71
	3. 住宅地としての静けさ、雰囲気	3.21	3.41	3.42	3.30
	4. 自然・緑の豊かさ、美しさ	3.13	3.20	3.56	3.20
道路・ 交通 施設	5. 道路の整備や車での移動のしやすさ	2.99	2.97	2.88	2.96
	6. 歩道の有無等、歩行者の歩きやすさ	2.78	2.65	2.92	2.75
	7. 電車・駅関係施設の利便性	2.95	2.70	2.33	2.78
	8. バスやタクシー、その他公共交通の利便性	2.55	2.52	2.08	2.49
そ の 他 都 市 施 設	9. 自転車専用レーンの有無や自転車の走行環境の充実	2.46	2.30	2.27	2.38
	10. 子どもの遊び場や公園の充実	2.69	2.61	2.63	2.66
	11. 生活排水対策(公共下水道、浄化槽等)	3.10	3.20	2.95	3.08
	12. 河川の安全性や親しみやすさ	3.02	3.08	2.92	3.03
	13. 小・中学校、保育園・幼稚園の充実	3.00	2.94	2.72	2.94
	14. コミュニティ施設、文化施設、官公庁施設等の暮らしを支える公共施設の充実	2.74	2.75	2.65	2.73
	15. 公共施設や道路等のバリアフリー化	2.71	2.67	2.63	2.69
	16. 医療施設の充実	2.37	2.34	2.36	2.37
	17. 消防や警察の充実	2.90	2.81	2.72	2.84
安 全 ・ 安 心	18. 地震や豪雨等の自然災害に対する安全性	2.74	2.88	2.81	2.79
	19. 火災や延焼等の社会災害に対する安全性	2.83	2.86	2.85	2.83
	20. 街路灯の数等の夜道の安全性	2.64	2.79	2.58	2.67
	21. 交通事故からの安全性	2.79	2.81	2.78	2.77
	22. 騒音や悪臭等の公害の無さ	2.90	3.10	2.96	2.96
23. 総合的な暮らしやすさ	3.05	3.04	2.87	3.00	

(不満・1、やや不満・2、普通・3、まあ満足・4、満足・5)

<生活環境の重要度(地域別)>

○地域別に重要度をみると、ほぼ同様の傾向であるが、西部地域はすべての項目でその重要度は他の地域に比べやや低くなっている。

○「日常の買い物の利便性」「医療施設の充実」については、全ての地域において重要度が高くなっている。

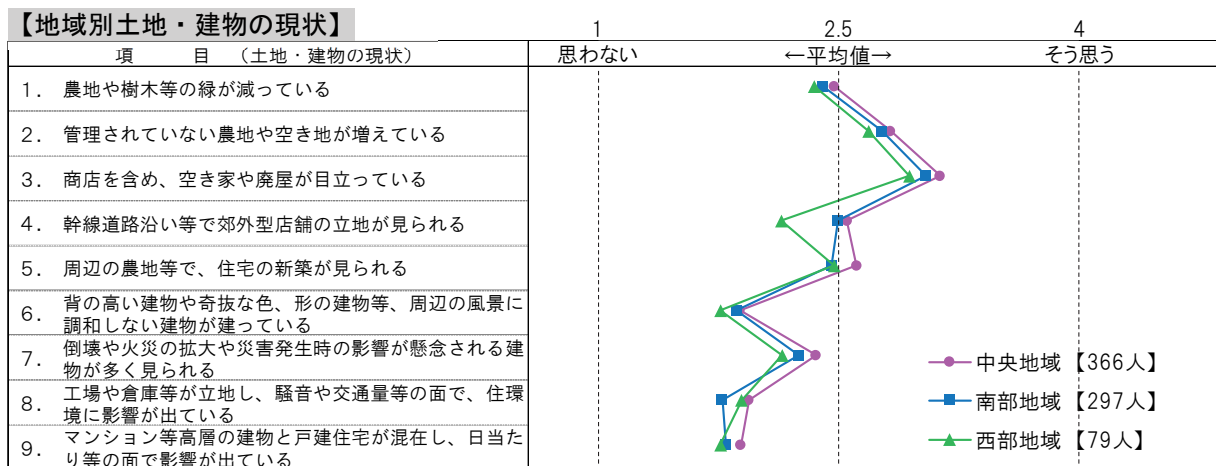
【地域別重要度一覧表】

項 目 (生活環境)		中央地域	南部地域	西部地域	市全体
土地 利用	1. 日常の買い物の利便性	4.10	4.06	4.00	4.07
	2. 働く場、就業機会の充実	3.74	3.68	3.63	3.71
	3. 住宅地としての静けさ、雰囲気	3.81	3.74	3.67	3.78
	4. 自然・緑の豊かさ、美しさ	3.59	3.51	3.63	3.57
道路・ 交通 施設	5. 道路の整備や車での移動のしやすさ	3.81	3.81	3.68	3.79
	6. 歩道の有無等、歩行者の歩きやすさ	3.87	3.84	3.69	3.84
	7. 電車・駅関係施設の利便性	3.93	3.81	3.87	3.87
	8. バスやタクシー、その他公共交通の利便性	3.80	3.70	3.92	3.77
	9. 自転車専用レーンの有無や自転車の走行環境の充実	3.62	3.66	3.61	3.63
そ の 他 都 市 施 設	10. 子どもの遊び場や公園の充実	3.67	3.73	3.56	3.68
	11. 生活排水対策(公共下水道、浄化槽等)	3.83	3.82	3.68	3.82
	12. 河川の安全性や親しみやすさ	3.55	3.41	3.47	3.50
	13. 小・中学校、保育園・幼稚園の充実	3.77	3.73	3.70	3.73
	14. コミュニティ施設、文化施設、官公庁施設等の暮らしを支える公共施設の充実	3.60	3.57	3.45	3.57
	15. 公共施設や道路等のバリアフリー化	3.69	3.68	3.50	3.67
	16. 医療施設の充実	4.13	4.08	3.87	4.08
安 全 ・ 安 心	17. 消防や警察の充実	3.87	3.80	3.72	3.83
	18. 地震や豪雨等の自然災害に対する安全性	4.03	3.99	3.75	3.99
	19. 火災や延焼等の社会災害に対する安全性	3.86	3.90	3.63	3.87
	20. 街路灯の数等の夜道の安全性	3.98	3.92	3.83	3.96
	21. 交通事故からの安全性	3.87	3.84	3.59	3.85
	22. 騒音や悪臭等の公害の無さ	3.83	3.85	3.52	3.82

(重要でない…1、あまり重要でない…2、普通…3、まあ重要…4、重要…5)

<土地・建物の現状>

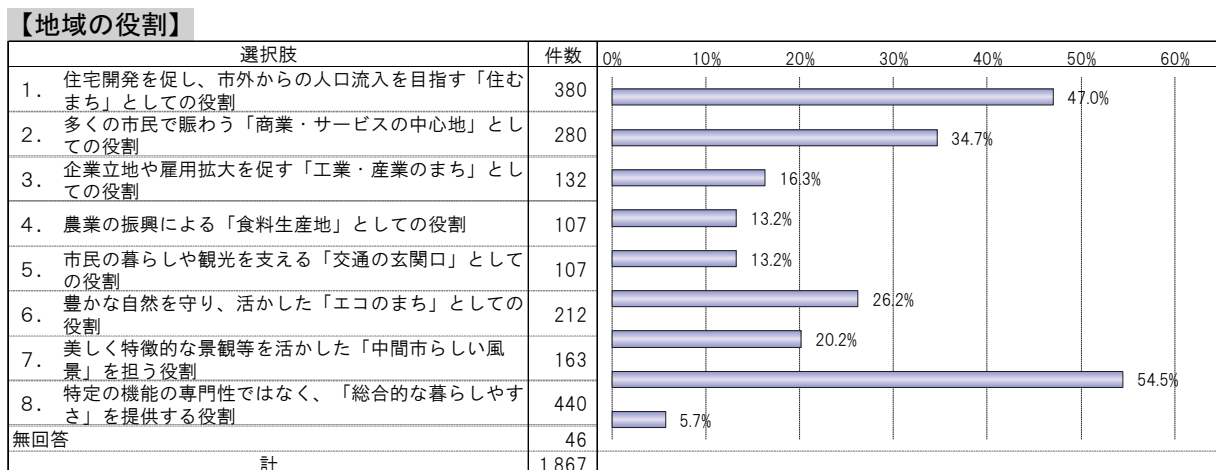
- 市全体として、「商店を含め、空き家や廃屋が目立っている」の意見が多い。
- 「背の高い建物や奇抜な色、形の建物等、周辺の風景に調和しない建物が建っている」「工場や倉庫等が立地し、騒音や交通量等の面で、住環境に影響が出ている」の項目は、“思わない”の意見が多く、良好な住環境が維持されていると考えられる。
- 地域別にみると、全体としてはおおむね同様の傾向を示している。



※平均値(全く思わない…1、あまり思わない…2、少し思う…3、そう思う…4)、わからない、無回答は除く。

<地域の役割>

- 中間市の発展を考える中で担うべき役割としては、「特定の機能の専門性ではなく、「総合的な暮らしやすさ」を提供する役割」が最も多く、次いで「住宅開発を促し、市外からの人口流入を目指す「住むまち」としての役割」「多くの市民で賑わう「商業・サービスの中心地」としての役割」となっている。



4つ以上回答した4名を含む。

<現在の中間市のイメージ>

- 現在の良いイメージは、「山、川等の自然が美しく豊かなまち」が最も多く、次いで「住宅事情が良く、住環境が整ったまち」となっている。
- 現在の悪いイメージは、「特に特徴が無く、個性に乏しいまち」が最も多く、次いで「特色ある産業がないまち」「働く場が少ないまち」となっている。

【良いイメージ】

選択肢	件数	0%	10%	20%	30%	40%
1. 農林水産業の盛んなまち	24	3.0%				
2. 工業の盛んなまち	9	1.1%				
3. 商業・サービス業の盛んなまち	111	13.7%				
4. 働く場が多いまち	13	1.6%				
5. 住宅事情が良く、住環境が整ったまち	186	23.0%				
6. 山、川等の自然が美しく豊かなまち	277	34.3%				
7. 歴史・文化が豊かなまち	105	13.0%				
8. 多くの人が訪れる観光や交流の盛んなまち	9	1.1%				
9. 高齢者等が住みやすい福祉・医療のまち	95	11.8%				
10. 防災性に優れた安全に暮らせるまち	63	7.8%				
11. 美しい街並み・景観のあるまち	38	4.7%				
12. 地域活動が活発なふれあいのまち	71	8.8%				
13. 交通の利便性の高いまち	122	15.1%				
14. その他	136	16.8%				
無回答	105	13.0%				
計	1,364					

4つ以上回答した4名を含む。

【悪いイメージ】

選択肢	件数	0%	10%	20%	30%	40%	50%
1. 特色ある産業がないまち	305	37.7%					
2. 買い物の利便性が低いまち	114	14.1%					
3. 働く場が少ないまち	268	33.2%					
4. 住環境が整っていないまち	29	3.6%					
5. 豊かな自然環境が失われつつあるまち	31	3.8%					
6. 歴史・文化の乏しいまち	30	3.7%					
7. 観光・レクリエーションの場が少ないまち	195	24.1%					
8. 福祉・医療が充実していないまち	229	28.3%					
9. 災害への不安のあるまち	74	9.2%					
10. 街並み・景観が雑然としたまち	47	5.8%					
11. 地域活動が活発でないまち	77	9.5%					
12. 交通の利便性が低いまち	212	26.2%					
13. 特に特徴が無く、個性に乏しいまち	364	45.0%					
14. その他	55	6.8%					
無回答	28	3.5%					
計	2,058						

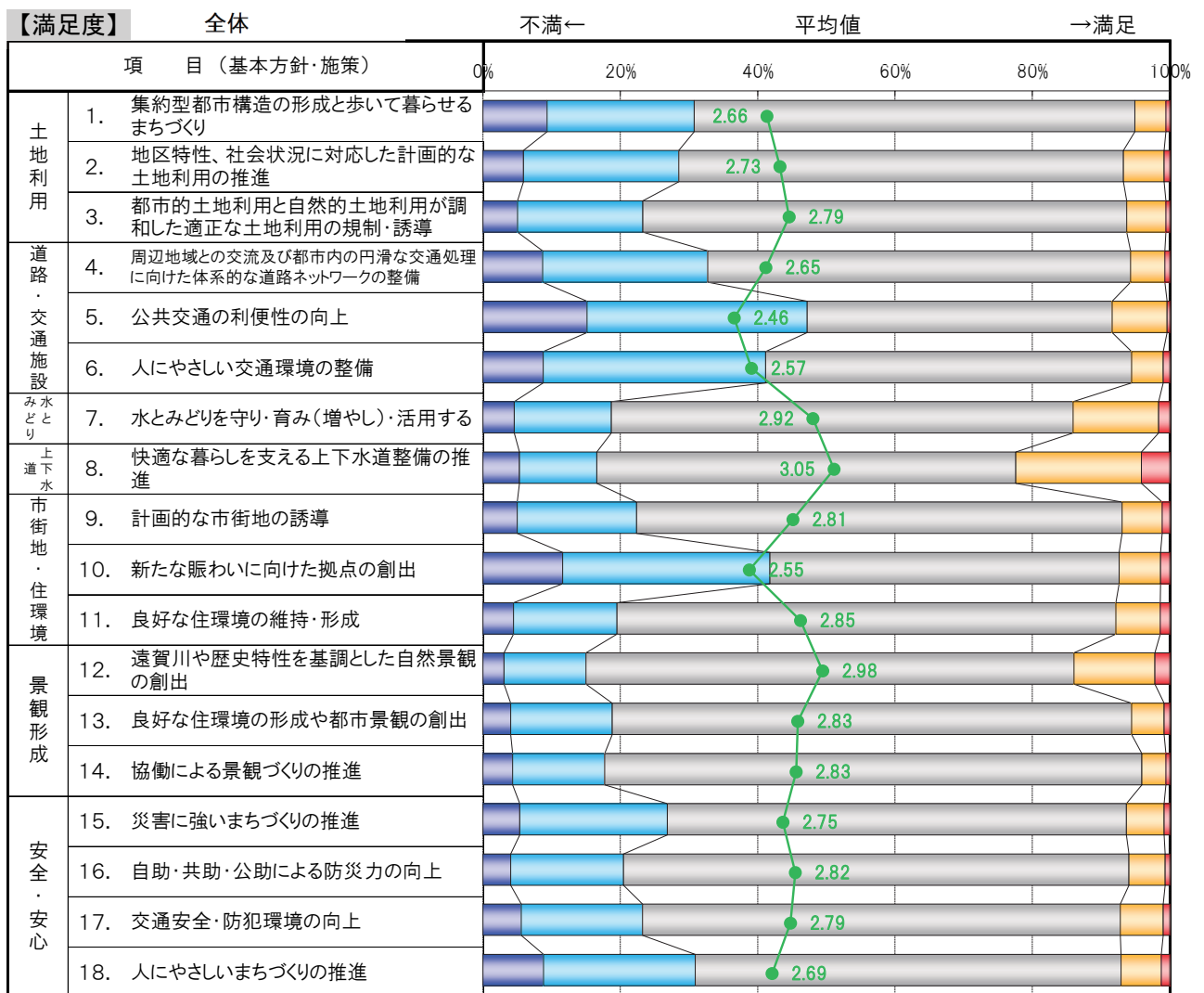
参考資料

(4) これまでのまちづくりについて

<前回計画の施策の満足度・重要度>

○満足度が高い項目は、「快適な暮らしを支える上下水道整備の推進」「遠賀川や歴史特性を基調とした自然景観の創出」「水とみどりを守り・育み(増やし)・活用する」となっている。逆に満足度の低い項目は、「公共交通の利便性の向上」「新たな賑わいに向けた拠点の創出」「人にやさしい交通環境の整備」となっている。

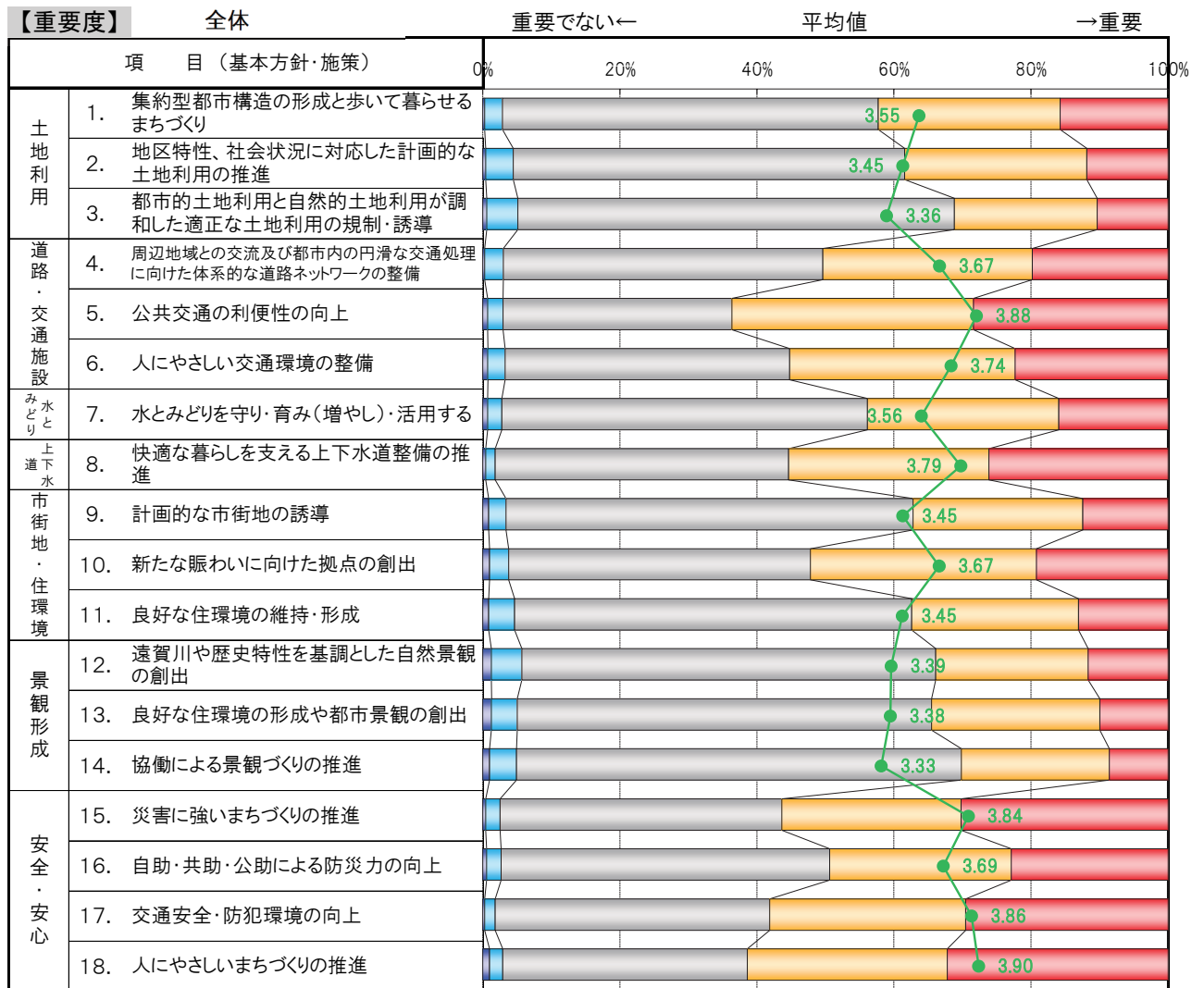
○重要度の高い項目は、「人にやさしいまちづくりの推進」「公共交通の利便性の向上」「交通安全・防犯環境の向上」「災害に強いまちづくりの推進」と主に『安全・安心』に関する項目となっている。



■ 不満 ■ やや不満 □ 普通 ■ まあ満足 ■ 満足

※平均値(不満・1、やや不満・2、普通・3、まあ満足・4、満足・5)無回答は除く。

※折れ線は平均値。



■重要でない □あまり重要でない □普通 □まあ重要 □重要

※平均値(重要でない・1、あまり重要でない・2、普通・3、まあ重要・4、重要・5)無回答は除く。 ※折れ線は平均値。

(5) 中間市の将来について

<中間市の将来のイメージ>

○将来のイメージは、「高齢者等が住みやすい福祉・医療のまち」が最も多く、次いで「住宅事情が良く、住環境が整ったまち」「交通の利便性の高いまち」「防災性に優れた安全に暮らせるまち」となっている。

【将来のイメージ】

選択肢	件数	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%
1. 農林水産業の盛んなまち	20	2.5%						
2. 工業の盛んなまち	20	2.5%						
3. 商業・サービス業の盛んなまち	220			27.2%				
4. 働く場が多いまち	187			23.1%				
5. 住宅事情が良く、住環境が整ったまち	324					40.1%		
6. 山、川等の自然が美しく豊かなまち	132			16.3%				
7. 歴史・文化が豊かなまち	34	4.2%						
8. 多くの人を訪れる観光や交流の盛んなまち	70		8.7%					
9. 高齢者等が住みやすい福祉・医療のまち	443						54.8%	
10. 防災性に優れた安全に暮らせるまち	225			27.8%				
11. 美しい街並み・景観のあるまち	90		11.1%					
12. 地域活動が活発なふれあいのまち	93		11.5%					
13. 交通の利便性の高いまち	315					39.0%		
14. その他	27	3.3%						
無回答	20	2.5%						
計	2,220							

4つ以上回答した14名を含む。

<市街地の拡大>

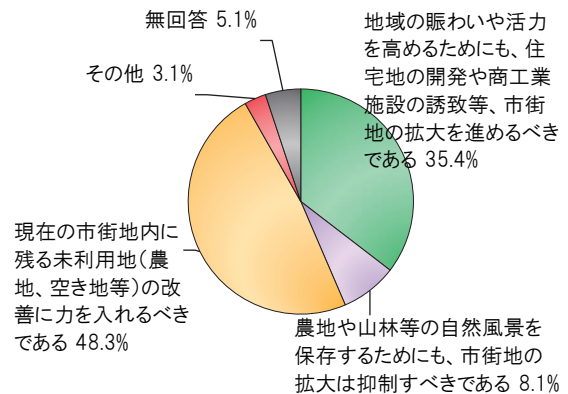
○市街地の拡大については、「現在の市街地内に残る未利用地(農地、空き地等)の改善に力を入れるべきである」の回答が最多で、約半数を占めている。

○「拡大を進めるべきである」という意見は、「拡大は抑制すべきである」意見より高い割合を示している。

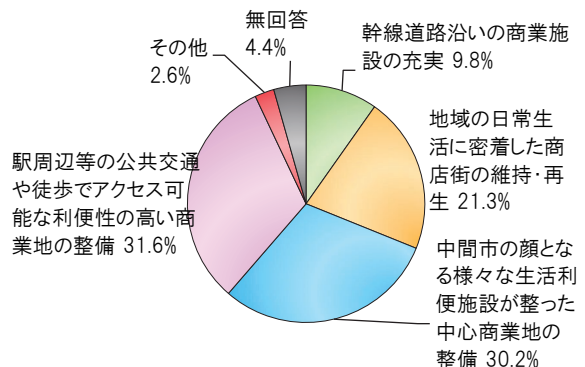
<土地利用の方針>

○商業地に関しては、「駅周辺等の公共交通や徒歩でアクセス可能な利便性の高い商業地の整備」が最も多く、次いで「中間市の顔となる様々な生活利便施設が整った中心商業地の整備」となっている。

【市街地の拡大】



【商業地】

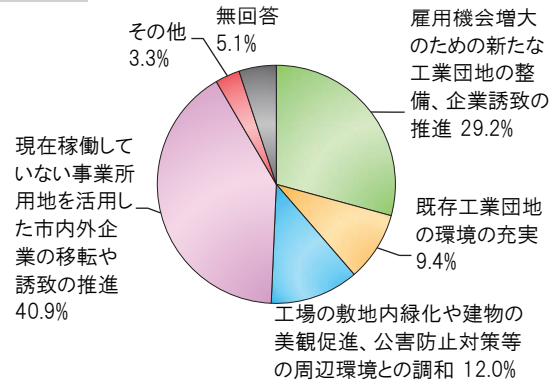


○工業地に関しては、「現在稼働していない事業所用地を活用した市内外企業の移転や誘致の推進」が最も多く、次いで「雇用機会増大のための新たな工業団地の整備、企業誘致の推進」となっている。

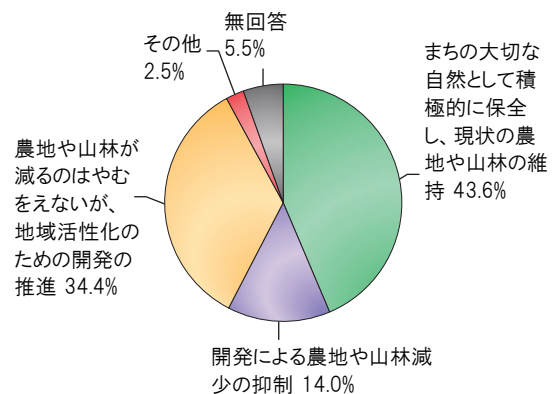
○農地・山林に関しては、「まちの大切な自然として積極的に保全し、現状の農地や山林の維持」が最も多く、次いで「農地や山林が減るのはやむをえないが、地域活性化のための開発の推進」となっている。

○住宅地に関しては、「空き家・空き地の適正な管理、活用の促進」が最も多く、次いで「身近な生活基盤(道路、公園、下水道等)の整備・改善」「防災性・安全性に優れた住環境形成に向けた取組」「お店や働く場が近くにある便利な住環境形成に向けた取組」となっている。

【工業地】



【農地・山林】



【住宅地】

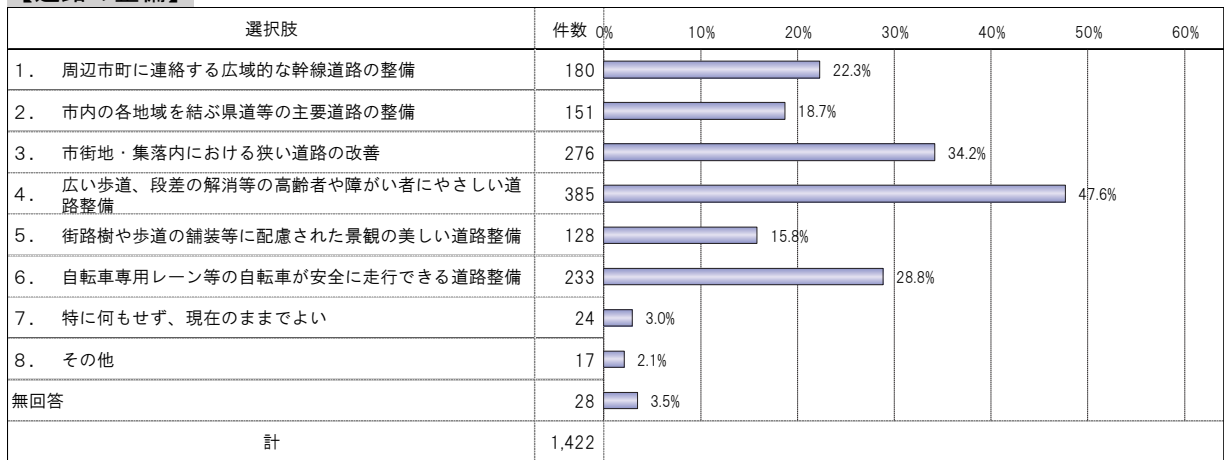
選択肢	件数	割合
1. 防災性・安全性に優れた住環境形成に向けた取組	270	33.4%
2. 美しい街並みとなるような景観づくりへの取組	104	12.9%
3. 身近な生活基盤(道路、公園、下水道等)の整備・改善	288	35.6%
4. 住宅と住宅以外の建物(工場等)の混在による住環境悪化の防止	34	4.2%
5. 日照が確保され、敷地にゆとりのある住環境形成に向けた取組	33	4.1%
6. お店や働く場が近くにある便利な住環境形成に向けた取組	243	30.1%
7. 空き家・空き地の適正な管理、活用の促進	339	42.0%
8. 老朽化した住宅の修復・建替え促進や公営住宅の再整備	159	19.7%
9. その他	19	2.4%
無回答	23	2.8%
計	1,512	

参考資料

＜その他都市整備の方針＞

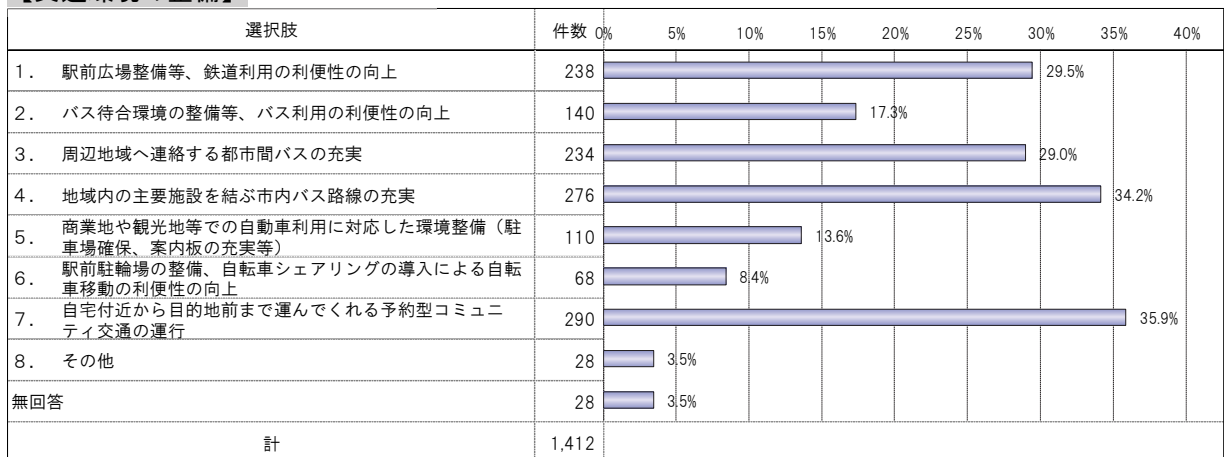
- 道路の整備に関しては、「広い歩道、段差の解消等の高齢者や障がい者にやさしい道路整備」が最も多く、次いで「市街地・集落内における狭い道路の改善」、「自転車専用レーン等の自転車が安全に走行できる道路整備」となっている。
- 交通環境の整備に関しては、「自宅付近から目的地前まで運んでくれる予約型コミュニティ交通の運行」が最も多く、次いで「地域内の主要施設を結ぶ市内バス路線の充実」、「駅前広場整備等、鉄道利用の利便性の向上」となっている。
- 公園・緑地の整備に関しては、「日常的に利用できる小さな公園・広場の整備」が最も多く、次いで「河川沿い等を活かしたゆっくり歩ける散策道の整備」、「家族で過ごせる大きな公園の整備」となっている。
- 水環境に関わる施設の整備に関しては、「安全でおいしい水を安定供給できる上水道施設の整備」が最も多く、次いで「公共下水道、浄化槽等の整備による河川の水質保全・浄化」、「河川改修等による治水安全度の向上」となっている。
- 街並み・景観に関しては、「市街地、駅前等での賑わいの景観づくり」及び「遠賀川を基調とした地域特性を活かした景観づくり」が同様に多くなっている。
- 防災に関しては、「災害に強い都市基盤の整備」が最も多く、次いで、「避難地・避難路の確保」、「治水・治山等の防災対策強化」が多くなっている。

【道路の整備】



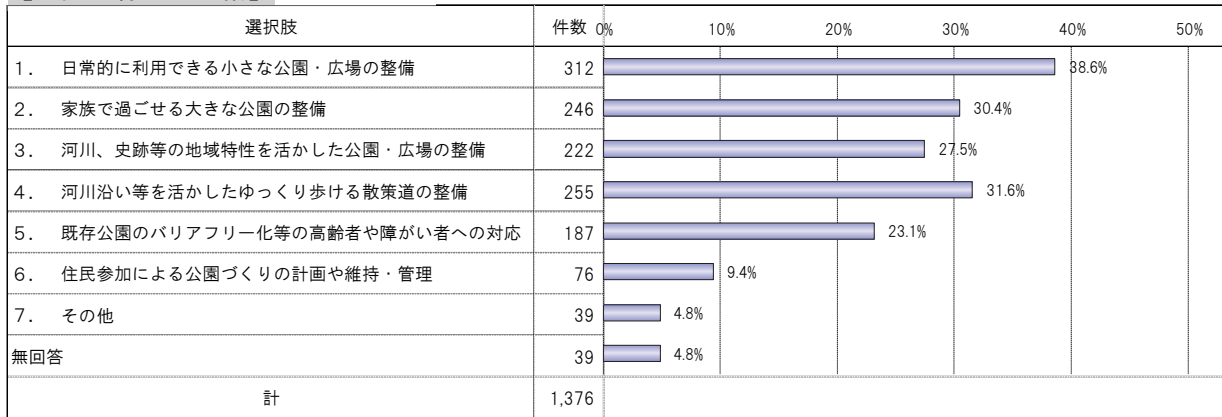
3つ以上回答した4名を含む。

【交通環境の整備】



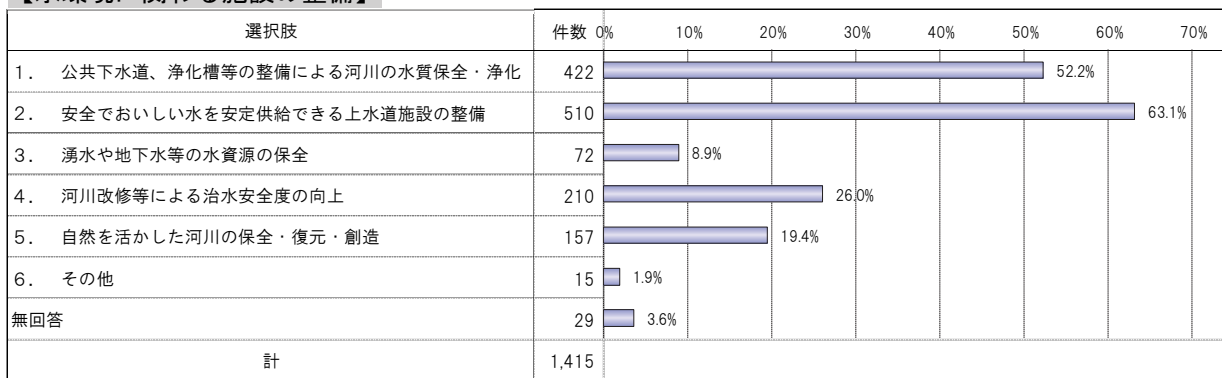
3つ以上回答した7名を含む。

【公園・緑地の整備】



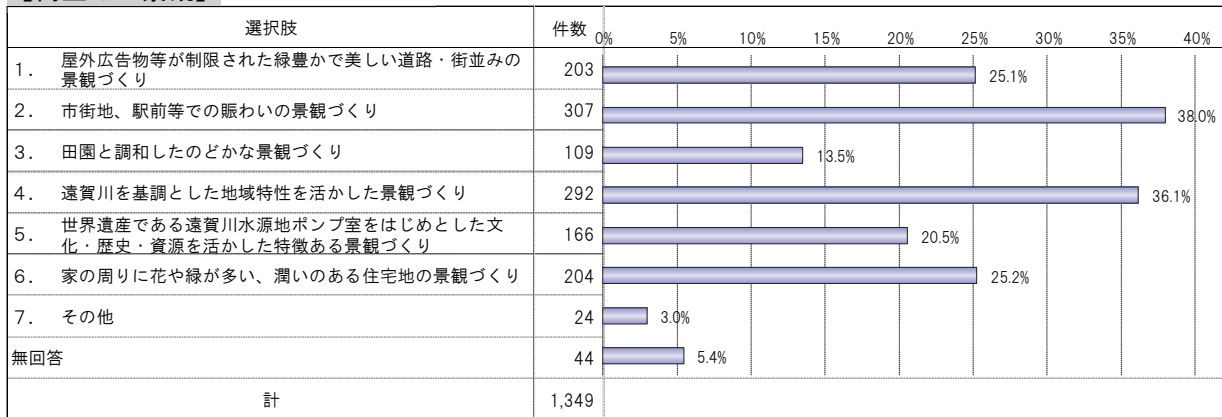
3つ以上回答した2名を含む

【水環境に関わる施設の整備】



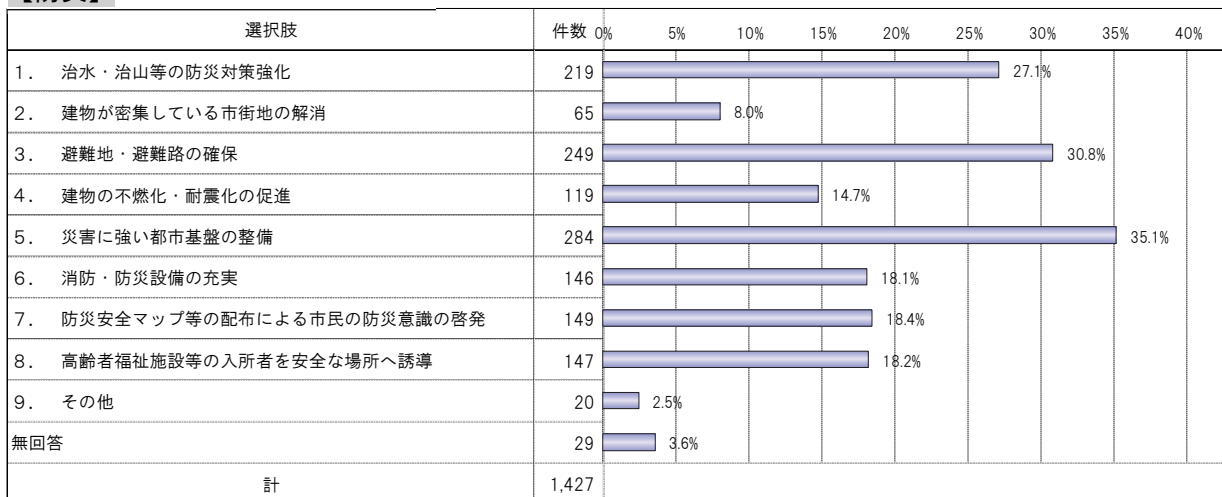
3つ以上回答した1名を含む

【街並み・景観】



3つ以上回答した2名を含む

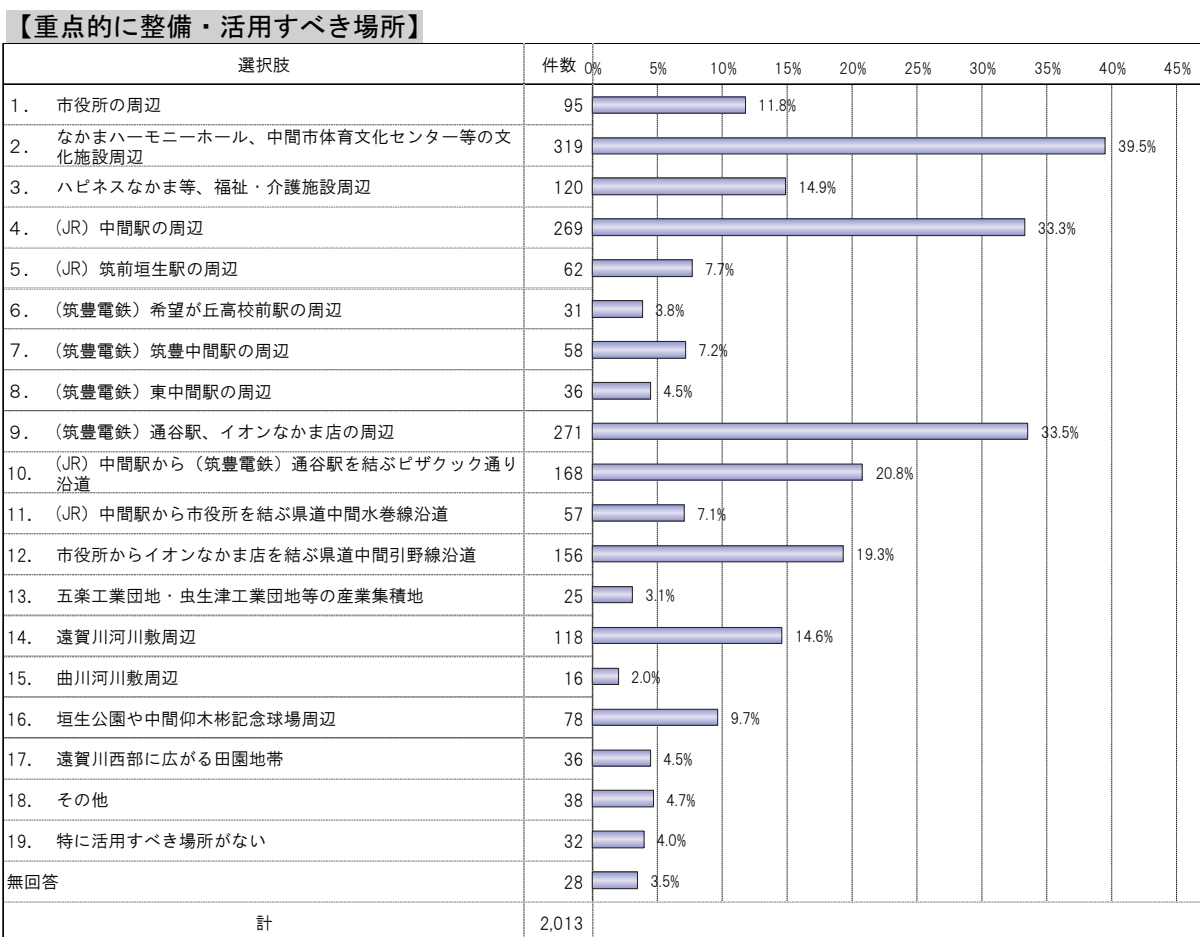
【防災】



3つ以上回答した4名を含む

<重点的に活用・整備すべき場所>

○重点的に活用・整備すべき場所として、「なかまハーモニーホール、中間市体育文化センター等の文化施設周辺」が最も多く、次いで「(筑豊電鉄)通谷駅、イオンなかま店の周辺」「(JR)中間駅の周辺」が同程度多くなっている。



4つ以上回答した6名を含む。

<各拠点に必要な施設>

- 『(筑豊電鉄)通谷駅周辺』に必要な施設としては、「窓口機能のある行政施設」が最も多く、次いで「コンビニエンスストア」「飲食店」「病院・診療所」となっている。
- 『コミュニティ広場周辺』に必要な施設としては、「病院・診療所」が最も多く、次いで「雨の日でも利用出来る交流施設」「高齢者福祉施設・障がい者福祉施設」「公園・広場」となっている。
- 『(JR)中間駅周辺』に必要な施設としては、「コンビニエンスストア」が最も多く、次いで「飲食店」「郵便局・銀行」「病院・診療所」となっている。

【各拠点に必要な施設】

施設名		件数	0%	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%
1. コンビニエンスストア	A	118						25.0%			
	B	21		8.5%							
	C	133							35.6%		
2. スーパーマーケット (生鮮食品・日用品等)	A	36					13.9%				
	B	245		8.7%							
	C	132							11.3%		
3. ドラッグストア (医薬品・日用品等)	A	28									11.3%
	B	181		6.4%							
	C	147							10.0%		
4. 生活用品店 (衣料品や家具・家電等の店舗)	A	112									17.5%
	B	70									12.6%
	C	91									9.7%
5. 複合商業施設	A	142									17.6%
	B	125									15.5%
	C	131									16.2%
6. 飲食店	A	177									21.9%
	B	121									15.0%
	C	229									28.3%
7. 病院・診療所	A	174									21.5%
	B	280									34.7%
	C	177									21.9%
8. 小・中学校	A	33									4.1%
	B	84									10.4%
	C	23									2.8%
9. 保育園・幼稚園	A	39									4.8%
	B	63									7.8%
	C	35									4.3%
10. 高齢者福祉施設・障がい者福祉施設	A	92									11.4%
	B	163									20.2%
	C	88									10.9%
11. 郵便局・銀行	A	137									17.0%
	B	131									16.2%
	C	210									26.0%
12. 公民館・集会所	A	20									2.5%
	B	76									9.4%
	C	27									3.3%
13. 文化ホール・図書館等の文化施設	A	46									5.7%
	B	146									18.1%
	C	33									4.1%
14. 体育館・競技場等の体育施設	A	21									2.6%
	B	133									16.5%
	C	30									3.7%
15. 公園・広場	A	79									9.8%
	B	157									19.4%
	C	111									13.7%
16. 雨の日でも利用できる交流施設	A	117									14.5%
	B	217									26.9%
	C	74									9.2%
17. 窓口機能のある行政施設	A	245									30.3%
	B	132									16.3%
	C	119									14.7%
18. 特になし	A	75									9.3%
	B	63									7.8%
	C	65									8.0%
19. その他	A	21									2.6%
	B	19									2.4%
	C	30									3.7%
無回答	A	181									22.4%
	B	147									18.2%
	C	184									22.8%
計	A	2,145									
	B	2,350									
	C	2,104									

集計母数808名

- A 6つ以上回答した25名を含む。
- B 6つ以上回答した41名を含む。
- C 6つ以上回答した17名を含む。

3. 住民説明会

3-1. 実施概要

「中間市都市計画マスタープラン」の策定にあたり、市民の意見を踏まえたものとするため、住民説明会を実施し、計画に対する意見募集を行いました。

実施時期・場所	令和7年10月21日 生涯学習仮事務所(旧中間市保健センター)
実施方法	・意見交換 ・感想カードの記入
参加者	・参加者数:4名 ・感想カード提出者数:2名

3-2. 意見概要

※NOについて、「整数」は質疑応答での内容。「-」は感想カードによる内容を表す

項目	意見概要	回答・対応方針	NO
都市計画マスタープランについて			
市民意見について	<ul style="list-style-type: none"> 協働のまちづくり、市民主体のまちづくりを目指しているとのことだが、今回の説明会の参加者が少ない。 今後こういった市民参加機会はあると思うがどのように考えるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回の説明会においては広報でお知らせしているほか、同期間にパブリックコメントも実施している。都市計画マスタープラン自体が大きな計画であり、身近なものとして捉えにくいことが参加者数に影響していると考えられる。今後とも都市計画変更等において、住民説明会等を開催する場合は広くお知らせできるような形をとりたい。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> 参加者が少ない。 		-
	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティひろばの活用について、保健センター、こども家庭センター、中央公民館が一体となった複合施設があると良いと思う。 施設計画を考える際には、まず市民の意見・ニーズを聞いて、市民が納得する計画を立ててほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を参考とし、個別事業の中で検討を進める。 市民意見をお聞きする機会を設けるという点では、説明会やパブリックコメント、ホームページ等あらゆる方法で情報発信や意見をお伺いする手段を今後も継続していきたい。 	2
道路の整備について	<ul style="list-style-type: none"> 市役所や通谷周辺など渋滞が多く、渋滞解消にむけたプランが必要。車以外にも自転車交通については、自転車道路などもあると良いのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明資料は概要版であったが、本編の中で自転車道路の整備についても記載している。 	3
	<ul style="list-style-type: none"> 通谷に住んでいるが坂道が多く大変である。公共交通の観点など、若い人だけでなく高齢者にとっても住みやすいまちにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針において、高齢化に対応する「健康のまちづくり」を一つの柱に掲げており、ご意見に基づき個別事業の中でも具体の施策検討を進める。 	4

項目	意見概要	回答・対応方針	NO
道路の整備について	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩道の整備においては、車椅子に配慮した整備も留意してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 現況の道路については段差が課題である。ご意見について、計画本編に段差の解消や歩行空間の確保など、ユニバーサルデザインの道路空間の整備、といった大きな方向性について記載している。 	5
	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通に関して、通谷電停付近や遠賀橋付近の渋滞緩和にも力を入れてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 駅周辺のアクセス強化について、道路・交通の方針に記載しており、個別事業の中で具体施策の検討を進める。 	—

4. パブリックコメント

4-1. 全体構想編（素案）について

(1) 実施概要

「中間市都市計画マスタープラン全体構想」の策定にあたり、市民の意見を踏まえたものとするため、パブリックコメントの手続きによって、素案を公表し、意見募集を実施しました。

実施時期	令和7年3月11日～令和7年4月10日
実施方法	<p>【資料閲覧方法・閲覧場所】 市広報及びホームページで告知 市役所情報公開コーナー(本館1階)、都市計画課(別館2階)、中央公民館(なかまハーモニーホール内)、市民図書館、ハピネスなかま本館、人権センター、地域交流センター</p> <p>【意見提出方法】 郵送、FAX、電子メールまたは持参のいずれかで提出</p>
意見提出状況	・意見者数:2名

(2) 意見概要

項目	意見概要	回答・対応方針	NO
現況編について			
図表・データ等	● 中間市の位置の図が荒くわかりにくい。	➤ ご指摘を受け修正する。	1
	● 大規模集客施設一覧の名称と商業施設一覧の名称の整合が必要ではないか。	➤ ご指摘を受け修正する。	2
	● 大規模集客施設一覧のうち、一部閉店している店舗があるのではないか。	➤ 本資料の出典は令和4年度に実施した都市計画基礎調査結果を基に整理したものであるため、原案のとおりとする。	3
	● 医療施設を「内科または外科」としているのはなぜか。表中には皮膚科なども記載されているが本文と整合が取れているか。	<p>➤ 内科又は外科を対象とした理由は、医療施設など、生活利便施設の定義や名称について「都市構造の評価に関するハンドブック(国交省)」を参考に整理を行ったためである。</p> <p>➤ また、表中に記載の医療施設は内科又は外科を含む施設を掲載している。</p>	4
	● 「高齢者福祉施設」とはどのような定義か。	➤ 「都市構造の評価に関するハンドブック(国交省)」を参考に整理を行っている。その中では高齢者福祉施設について通所系施設、訪問系施設、小規模多機能施設を対象とするとされているが、加えて参考として入所系	5

項目	意見概要	回答・対応方針	NO
		施設及びその他施設についても整理したものである。 ▶ そのため、ご意見を受けて上記の旨を本文中に補足を行う形で修正する。	
	● グループホームは「入所系」に分類されるのではないか。	▶ 「介護サービス情報公表システム」において、グループホームは入所系と異なるカテゴリ(地域密着)のため、その他として整理していることから、原案のとおりとする	6
	● 表タイトルが「表:●●施設一覧表」となっており、他の表記と不整合ではないか。	▶ ご指摘を受け修正する。	7
全体構想について			
都市づくりの理念	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市計画マスタープランにおける「持続可能な都市づくり」「連携しあう都市づくり」の理念を踏まえ、産後ケアの充実・教育環境の向上・防災対策の強化を提案する。 ● 1産後ケアの充実 提案:提案産後ケアを「すべての母親が受けられる支援」として位置づける/情報提供や申請の簡素化/宿泊型・通所型・訪問型の産後ケアを柔軟に選択できるように、拠点整備や送迎支援を強化 ● 2教育環境の向上 提案:インクルーシブ教育の推進/学校施設のバリアフリー化/放課後の学習支援を充実/学校施設を防災拠点として位置づけ、災害時にも地域住民が安心して避難できる環境整備 ● 3防災対策の強化 提案:避難所の環境改善(トイレ・キッチン・ベッドの重点整備)/簡易トイレや移動式トイレの導入/温かい食事の提供体制(炊き出し支援やキッチンカーとの連携強化)/避難生活の環境改善(簡易ベッドやパーテーションによるプライバシー確保) 	▶ 関係各課との情報共有を図り、今後の方針やその取組の実現について検討を進める。	8

4-2. 都市計画マスタープラン（素案）について

(1) 実施概要

「中間市都市計画マスタープラン」の策定にあたり、市民の意見を踏まえたものとするため、パブリックコメントの手続きによって、素案を公表し、意見募集を実施しました。

実施時期	令和7年10月15日～令和7年11月14日
実施方法	<p>【資料閲覧方法・閲覧場所】 市広報及びホームページで告知 市役所情報公開コーナー（本館1階）、都市計画課（別館2階）、中央公民館（なかまハーモニーホール内）、市民図書館、ハピネスなかま本館、人権センター、地域交流センター</p> <p>【意見提出方法】 郵送、FAX、電子メールまたは持参のいずれかで提出</p>
意見提出状況	・意見者数:1名

(2) 意見概要

項目	意見概要	回答・対応方針	NO
地域づくりの方針について			
地域づくりの方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 「青果市場移転+跡地に教育・保育施設整備」の提案 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 現在のところ、青果市場の移転予定等はないため、原案のとおりとする。 ➤ ご提案内容は、地域環境の向上に資するものとして、関係各課との情報共有を図り、今後の方針やその取組の実現について検討を進める。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「垣生駅近くに循環バス車庫+児童バス通学支援」の提案 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 現在のところ、垣生駅周辺のバス車庫の整備予定はないため、原案のとおりとする。 ➤ ご提案内容も含め公共交通の利便性向上にむけて、関係各課との情報共有を図り、今後の方針やその取組の実現について検討を進める。 	2
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「JR垣生駅周辺の農地市街化+子育て住宅街整備」の提案 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 現在のところ、垣生駅周辺は住宅地として整備予定はないため、原案のとおりとする。 ➤ 今後の動向に応じて、市街化する際には、ご意見も参考に有効な土地利用について、周辺環境への影響に留意しつつ検討する。 	3

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域づくりの方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「野球場移転+跡地を子育て支援拠点に再整備」の提案 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 現在のところ、野球場の移転予定はないため、原案のとおりとする。 ➤ ご提案内容は、西部地域に限らず市全体の子育て環境向上に資するものとして、関係各課との情報共有を図り、今後の方針やその取組の実現について検討を進める。 	<p style="text-align: center;">4</p>
---	---	---	--------------------------------------

5. 用語解説

あ行			
アクセス	目的地へ近づくこと		
一般診療所	医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所(歯科医業のみは除く)であって、患者の入院施設を有しないもの又は患者19人以下の入院施設を有するもの		
延焼遮断帯	大地震時において市街地大火を阻止する機能を果たす、道路、河川、鉄道、公園等の都市施設など		
か行			
開発行為	建築物の建築などの目的で行う都市の区画形質の変更		
急傾斜地法	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律		
急傾斜地崩壊危険区域	急傾斜地地方に基づき災害の恐れがある急傾斜地を「急傾斜地崩壊危険区域」として都道府県知事が指定する		
狭あい道路	道幅が狭く、緊急車両の通行や防災面に支障となる4mに満たない道路のこと		
区域区分	市街化区域と市街化調整区域の区分のこと		
区画整理事業	すでに市街地となっている地区や今後市街化をしようとする地区において、道路、公園、下水道などの公共施設の整備と宅地の区画や形状を整える事業で、良好な市街地をつくらうとするもの		
景観法	都市・農山漁村等における良好な景観は国民共通の資産と認め、その整備と保全を図るため、基本理念及び国等の責務を定めるとともに、景観計画の策定等における規制等所要の措置を講ずる景観についての総合的な法律		
公共下水道	主として市街地における下水(雨水・汚水)を排除し、又は処理するために、地方公共団体が管理する下水道		
コミュニティ	地域共同体、地域共同社会のこと		
さ行			
市街化区域	都市計画区域のうち、すでに市街地を形成している区域、及びおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図る区域		
市街化調整区域	都市計画区域のうち、市街化を抑制する区域		
市街地整備事業	都市再開発法に基づき、市街地の土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図ることを目的に、建築物及び建築敷地の整備並びに公共施設の整備を行う事業		
自市内就業率	自市内就業者数を就業者数で割った数		
市町村の建設に関する基本構想(総合計画)	自治法に基づいて定められる計画であり、都市整備や福祉、教育、産業振興など、自治体運営のための総合的な指針となる計画		
集約型都市構造	本計画では、従来の拡散型のまちづくりのあり方を転換し、既存ストックを有効活用しながら、様々な都市機能がコンパクトにまとまった都市構造のこと		
準防火地域	都市計画法に基づく地域地区の1つで、耐火性の高い建築物を誘導し、市街地の防災性を高めるために指定された地域		
少子高齢化	1990年(平成2年)代に特に顕著になった低出生率の持続と1935年(昭和10年)以来、高齢人口(65歳以上)の全人口に占める割合が持続的に上昇する社会変化		
親水性	河川や池などの水辺において水と親しめること。また、親水には水にふれることに加え、眺めることも含む		
森林法	森林計画、保安林その他の森林に関する基本的事項を定めた法律		
都市ストック	都市における生活や産業を支える基礎的な都市基盤や公共施設、公益的な民間施設などで、既にあるもの		
た行			
第1次産業	自然に働きかけて採取を行う産業。農業、林業、水産業等		
第2次産業	地下資源の採取、又は材料を加工して工業製品を作る産業。製造業、建設業、鉱業等		
第3次産業	第1次、第2次に分類されない産業。流通業、小売業、サービス業、飲食業等		
地区計画	良好な市街地環境の保全・形成を図るため、住民の意向に基づいて必要な道路や公園などの施設の配置と建物の用途や形態などの制限を都市計画で定めるもの		
地方分権	国に属していた権限が地方公共団体に委譲されることによって、地方自治体の自己決定権が強化されること		
昼夜間人口比	常住人口(夜間人口)に対する昼間人口の割合を示す指標		

低炭素社会	地球温暖化など、環境対策として、移動による二酸化炭素の排出を削減するなどの取組みを行うこと
都市機能	都市の持つ様々な働きやサービスのことで、業務、商業、居住、工業、交通、行政、教育等の諸活動に対してサービスを提供する役割
都市計画区域	一体の都市として総合的に整備、開発し、及び保全する必要があるため都市計画法第5条第1項に基づいて指定された区域
都市計画区域の整備、開発及び保全の方針	都市計画区域について定める都市計画の目標、土地利用や都市施設の整備、市街地開発事業等に関する主要な都市計画の方針
都市施設	道路、公園、下水道など、都市の骨格を形成するとともに、円滑な都市活動を確保し、良好な都市環境を保持するための施設
な行	
農業振興地域	まとまりある農用地があり、一体として農業の振興を図ることが相当と県が指定した区域
農用地区域	農業振興地域整備計画に定められる、おおむね10年先を見越して農用地として保全する区域
農振法	農業振興地域の整備に関する法律のことで、法律に基づき農業振興地域の指定及び農業振興地域整備計画が策定される
は行	
ハザードマップ	地震や洪水などの自然災害に備えて、災害が起こった場合の被害の程度を予測して示すとともに、避難場所や避難経路などを示した地図
パブリックコメント	市が計画や条例などを策定したり変更したりする時に、その内容を案の段階で公表し、案に対する意見や提案、要望を市民から募集する手続きのこと
病院	医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所であって、患者20人以上の入院施設を有するもの
福岡県都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例	都市計画法に基づき、市街化調整区域内における構造物を建設する基準を定めた条例。利用目的により、その基準は異なる
保安林	地下水のかん養など、森林のもつ機能の発揮を目的として指定

ポケットパーク	住宅地の空き地や道路の交差点などのスペースを利用して整備した小さな公園
ま行	
未利用地	本来、建築物などが建てられ、その土地にふさわしい利用がなされるべきと考えられる土地において、自然的な土地利用のままになっている土地
モニュメント	記念碑や記念建造物
や行	
誘導圏	公園の誘致距離の基準を基に、主に公園を利用する人の範囲を表した圏域のことで、公園種別によって誘致距離が異なる
ユニバーサルデザイン	障がい者などの特定の人のために考案する特別なデザインではなく、すべての人々にとって使いやすいデザイン
用途地域	都市計画法に基づく地域地区で最も基本となるもので、地域に応じて建築物の用途や高さ等の形態について一定の制限を定めることにより土地利用を方向づけるもの
ら行	
ライフライン	生活・生命を維持するために必要な水道・電気・ガス・通信などのネットワークシステム
ランドマーク	地域の目印となる建築物や象徴的な景観要素のこと
流域下水道	専ら地方公共団体が管理する下水道により排除される下水を受けて、これを排除し、及び処理するために地方公共団体が管理する下水道
A～Z	
DID地区(人口集中地区)	DID(Densely Inhabited District の略)とは「人口集中地区」のことで、原則として1kmあたり4千人以上の人口密度を有する地域が全体として5,000人以上の規模となる地域のこと。5年毎の国勢調査によって設定、見直しが実施。市街地の形成の度合を示す基準としても利用され、都市計画上はDIDのことを「既成市街地」とも呼ぶ
MaaS	Mobility as a Serviceの略称で情報通信技術を用いて、あらゆる公共交通機関を結び付け、効率よく、かつ便利に使えるようにする概念及びシステム



中間市役所 建設産業部 都市計画課
〒809-8501 福岡県中間市中間一丁目1番1号
TEL:093-244-1111(代表)

